

学校だより ミモザ 特別号

平成30年3月1日
熱海市立桃山小学校
校長 坂本 貴一
担当 鈴木 紀子

☆過日ご協力いただいた学校診断評価のまとめについて、ご報告いたします。

平成29年度 学校診断評価2 まとめ

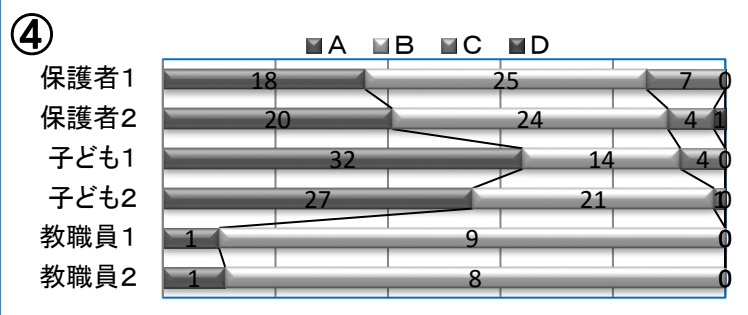
☆A→よい・ある・そのとおり B→どちらかというよい・どちらかというと思う C→どちらかという悪い・どちらかというと思わない D→悪い・ない・思わない

☆前期を1、今回を2として、それぞれの変容を比較できるようにしました。

☆それぞれの結果をもとに、「A」「B」と「C」「D」の境界に着目して考えてみました。おおむね8割を目安に、よい評価・成果と考えられるものを○、課題や問題点と思われるものを●としました。「→」以下には、今後の対応や具体的な手立てについて太字で記しました。

重点教育① キャリア教育について

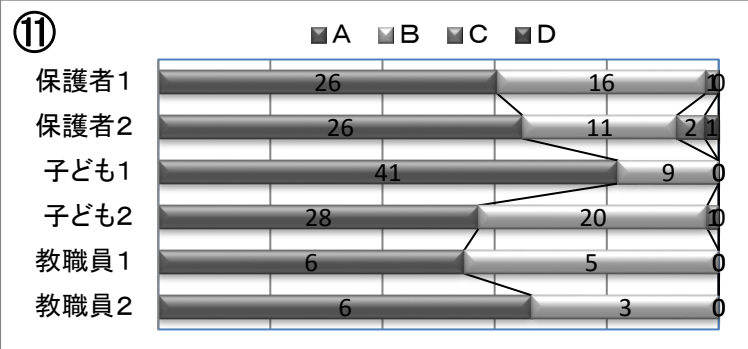
④お子さん(あなた)は、学習内容が定着している。



○AとB評価の合計が8割を超えているが子ども一人一人の見取りが必要である。

→**継続**。今後も校内研修、特に外国語や道徳の充実を図り、個に応じた細かな支援ができるよう工夫していく。

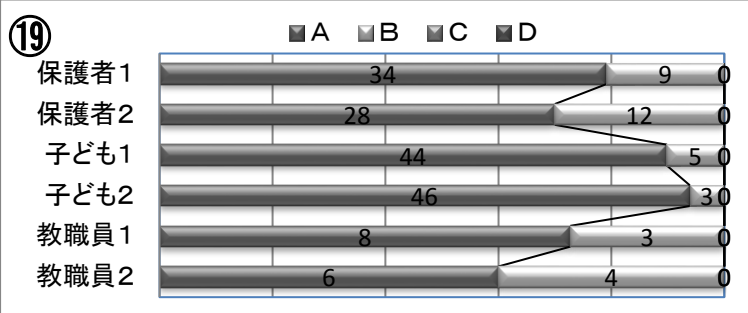
⑪桃山小は、学力向上のための努力や工夫をしている。(子ども→自分の力ややりたいことにあった学習を…)



○年間を通してよい評価が得られた。

→ **継続**。上記の④などの評価がさらに上がるように、子ども一人一人を見つめ、学力向上に結び付く手立てを研修しながら、客観的な数値も意識しつつ、努力や工夫を重ねていく。

⑱桃山小の夢先生を招いての教育は効果がある。(子ども→ためになった。)

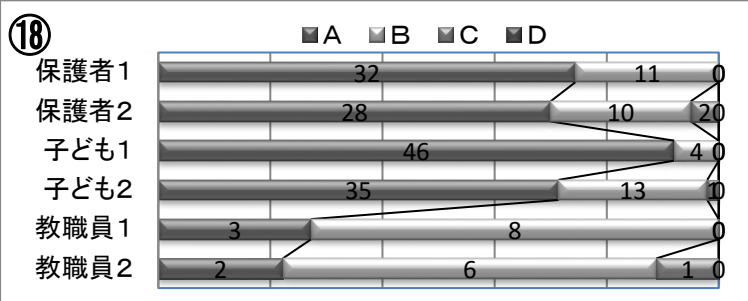


○昨年度と比べ、保護者のAの割合が増えた。活動のねらいをご理解いただいた結果が評価として表れたようである。

→**継続**。本校の特色ある教育活動の一つでもあり、今後も活動のねらいや子どもに付けたい力を意識して取り組んでいく。

重点教育② 健康安全教育について

⑱桃山小の朝運動や体力アップへの取り組みに満足している。(子ども→がんばっている。)

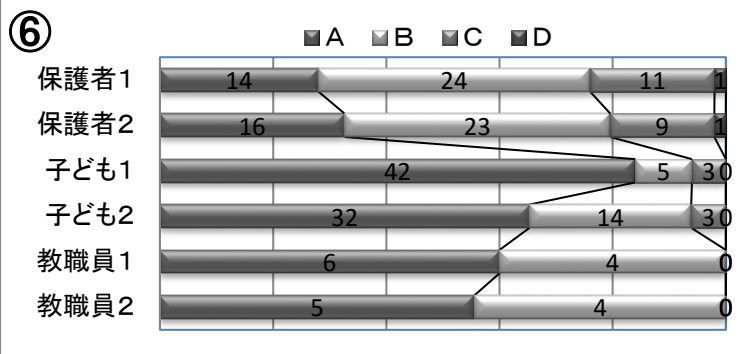


○年間を通して高い評価を得られた。

→**継続**。運動の量や質、内容について、子どもの体調を考慮しながら展開していく。

重点教育③ 読書教育について

⑥お子さん(あなた)は読書をよくする。

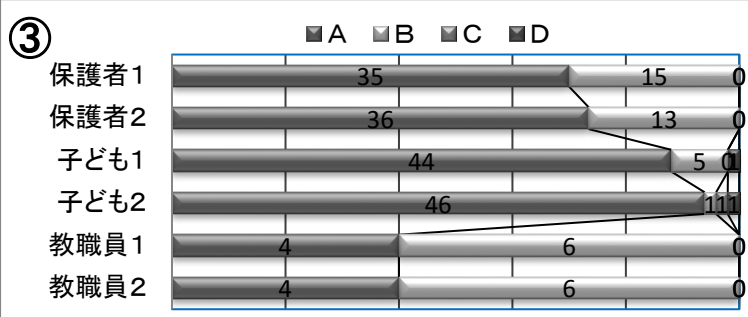


○昨年は、保護者の後期の評価が8割を切ってしまったが、今年の後期は8割に達することができた。毎週木曜日、ご家庭での読書カードへの一言記入が功を奏していると思われる。

→継続。保護者の方のご理解とご協力を大切にしなが、学校司書と連携し、指導を工夫・継続していく。

重点教育④ 道徳教育について

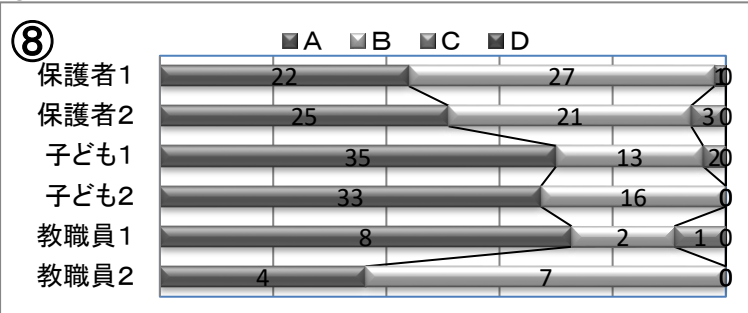
③お子さん(あなた)は友達と仲良く遊んでいる。



○昨年度同様、年間を通して高い評価が得られた。

→継続。個に焦点を当て、よりよい友達関係づくりを、道徳の授業や命の学習週間はもちろん、毎日のかかわりの中で見守って支援していく。

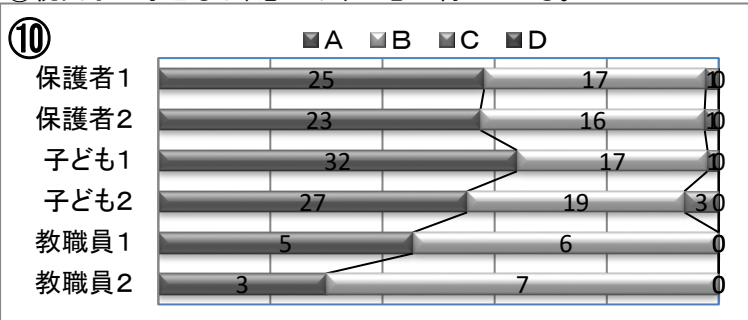
⑧お子さん(あなた)は家や地域であいさつをしている。



○昨年に比べるとC評価が減ってはいるが、まだ家庭や地域での自然なあいさつが課題と思われる。

→継続。今後も学校の中だけでなく家庭や地域でも自らあいさつできる子どもに育つよう、児童会活動や校外活動の機会を生かして指導する。また、懇談会や面談等で、家庭や地域での実態の把握に努め、改善策を練る。

⑩桃山小の子どもは、思いやりの心が育っている。



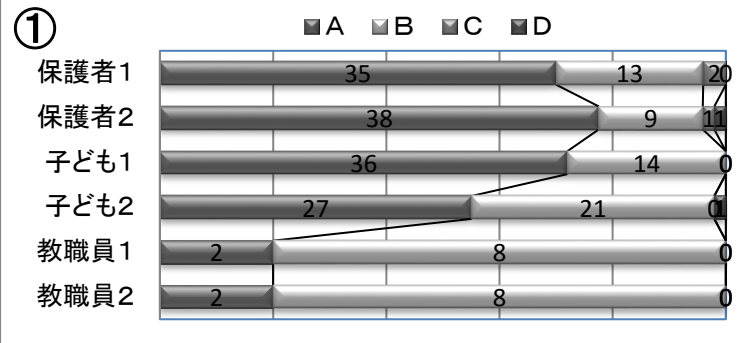
○年間を通してよい評価が得られたが、今後も見守っていく必要がある。重点目標の一つでもあり、継続して積み重ねていく。

→道徳の授業や命の学習週間を契機に、全体での指導を継続しつつ、一人一人をよく見つめて個別に対応していく。



その他の項目について

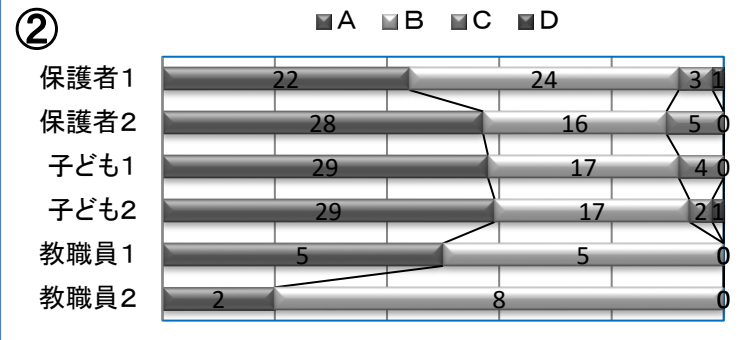
①お子さん(あなた)は学校へ行くのを楽しみにしている。



○昨年度同様、年間を通して高い評価が得られた。

→継続。教職員間で情報を共有し、今後も個の見取りを大切に、達成感・成就感を味わえる指導を継続していく。

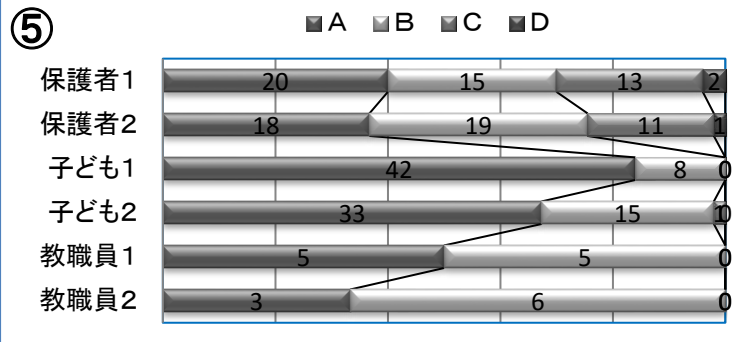
②お子さん(あなた)は学校や友達の話をよくする。



○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。

→継続。今後も学校からの情報発信による話題提供を行う。家庭との連絡を密にして情報交換をしていくと共に個別の対応を心がける。

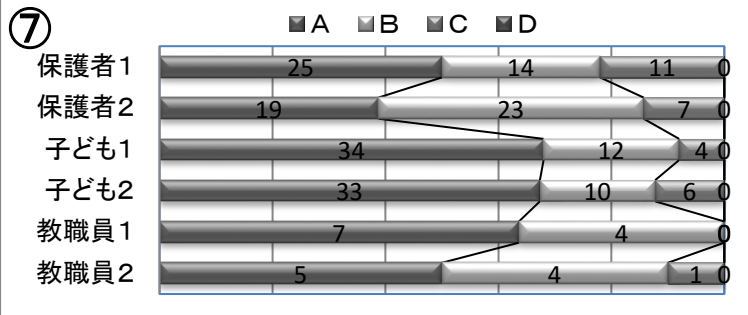
⑤お子さん(あなた)は宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。



●保護者のA評価とB評価の合計が8割に達していおらず、昨年度よりも下がっている。

→支援を強化する。宿題の内容や量については、個に応じた指導を心がけ、家庭と連携を取り、協力しながら進めていく。

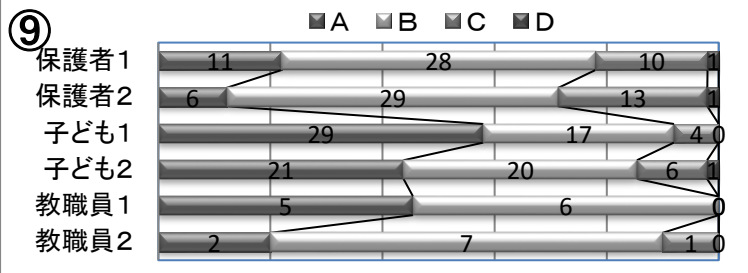
⑦お子さん(あなた)はよく運動(外遊び)をする。



○前期の保護者評価は8割を切ったが、後期は、下校時刻が早いめか、おおむねよい評価になった。

→上記⑤にも関連するが、宿題の内容や量については懇談会等の意見を参考に、個に応じた適切な量を考えていき、外遊びのできる時間を生み出していく。

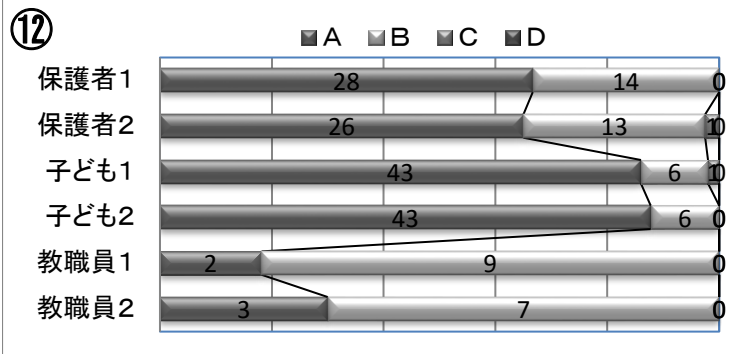
⑨お子さん(あなた)は家でお手伝いを進んでおこなっている。



●後期の保護者評価がまた下がっており、年間を通じて8割には達していない。

→今後も進んでお手伝いができるように、家庭科の授業や長期休業前の指導等、機会をとらえて指導していく。懇談会などで家庭での取り組み等について話題にあげ、更に工夫を重ねていく。

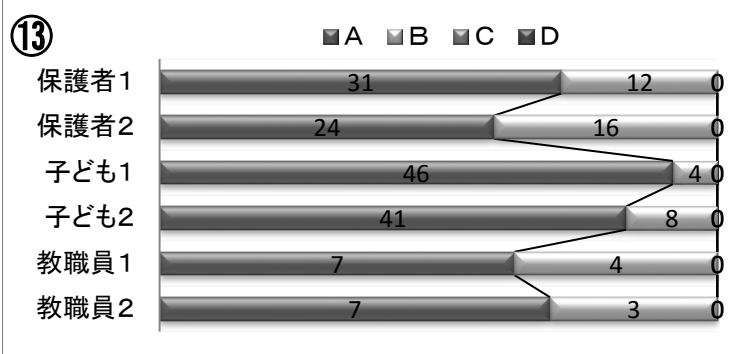
⑫桃山小は教育環境が整っている。



○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。施設面のメンテナンスが必要な部分は、引き続き、市に改善を働きかけていく。

→継続。限られた中ではあるが今後も市教委に働きかけていく。細かな補修については、その都度対応していく。

⑬桃山小は地域のよさを生かした教育を進めている。(子ども→地域とのかかわりを大切にしている。)



○昨年度同様、年間を通して高い評価が得られた。キャリア教育を進める中で、地域の人・こと・ものとのかかわりを大切にしてきた成果と考える。

→継続。保護者・地域の方々のご理解とご協力があるからこそと考えている。財政面での難しさがあるが、今後も、地域教材の発掘と協力体制づくりに努めていく。

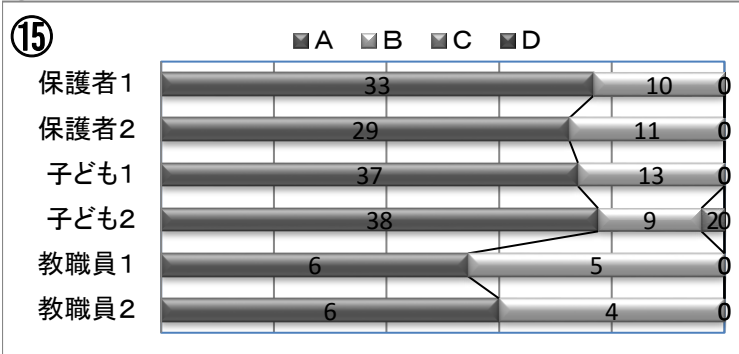
⑭桃山小の職員の対応は親切で気持ちがよい。(子ども→親切でやさしい。)



○昨年度同様、年間を通して高い評価が得られた。

→継続。今後も保護者・地域の声を大切にし、家庭や地域と連携・協力していく。児童理解を深める上で大切な部分であるだけに、これからも常に意識して努めていく。

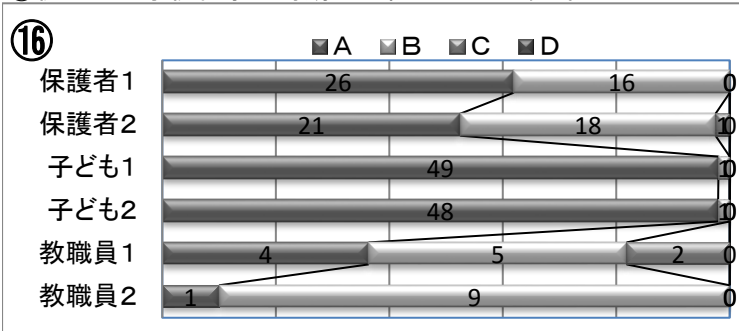
⑮桃山小の学校だよりや学年だよりは充実している。(子ども→お家の人はおたよりを必ず読む。)



○昨年度同様、年間を通して高い評価が得られた。

→継続。今後も学校から発信するおたより類の充実と精選に努める。ケータイメールの活用やHPの定期的な発信に努めていく。

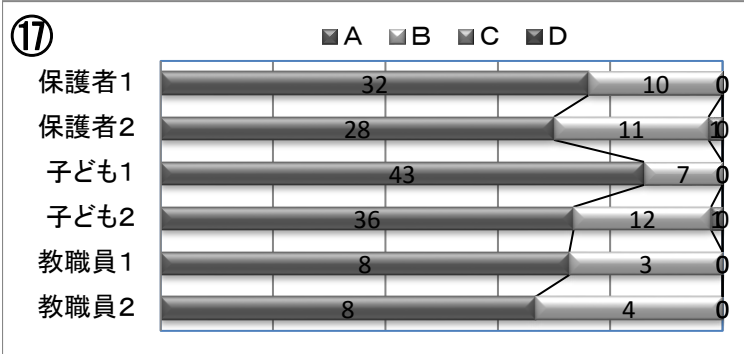
⑯桃山小の学校行事は時期や内容が適切である。



○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。これも、保護者・地域の方々のご協力に支えられてできていることだと思う。

→継続。今後も「子ども」を中心に、体調への配慮を心がけ、内容の精選や時期等の設定を工夫していく。

⑰「桃山小学校は…」と自慢したくなるときがある。



○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。本校の教育活動等について理解を示していただいていると考える。

→継続。「子どもが主役」「子どもが輝く」を大切に次年度も日々の実践を重ねていく。

★保護者・子ども・教職員の3者を評価者として設定し、それぞれの比較から実践を振り返り、改善を図ることをめざしました。また、本校の進める4つの重点教育を中心にしてまとめることで、桃山小学校の目指している方向性の理解を得ながら、保護者・子ども・学校の思いを合わせてよりよい教育活動の推進がなされていくと考えました。

★昨年度の評価と前期と後期を比較しての検証を行いました。昨年度と前期の評価をもとにした手立てにより、どのように改善が図られたのかを確認することが、よりよい教育活動の実践につながると考えました。

★それぞれの結果をもとに、「A」「B」と「C」「D」の境界に着目して考えてみました。おおむね8割を目安に、成果と考えられるものを○、課題や問題点と思われるものを●としました。「→」以下には、今後の対応や具体的な手立てについて太字で記しました。

☆今回の学校診断評価では、全体として「よい」とする数値が得られました。これまでの学校関係者評価の結果をふまえた手立ての工夫や実践が成果となっていると考えます。今年度の桃山小学校の教育活動に対して、多くの保護者の方々にご理解いただき、「よい」とする評価をいただけたことに感謝いたします。

☆「子どもが家庭に帰った時に力を出せるか。」これが今後、我々教職員が考えていくキーワードだと、この評価からうかがえます。学校での活動が家庭でも継続し、家庭での活動が学校で生かせる、そんなサイクルを理想とし、取り組んでまいります。

文責：教務 鈴木

【桃っ子を考える会】

○平成30年2月6日(火) 14:50~15:40 本校会議室にて開催

○参加者 パネラー ・ 地域参加者 ・ 保護者 ・ 本校職員(校長・教頭・教務・養教)

○おもな内容

- ・本年度の児童の様子をスライドで紹介させていただいた。
- ・教職員のコンプライアンスについて、学校での取り組みについてご理解いただいた。
- ・学校より「本校教育活動の実践・課題」について説明をした後、質疑・応答の時間をとり、検討していただいた。
- ・意見交換でパネラーからの提言、地域の方からご意見をいただいた。

◎その他

☆主な内容につきましては「ミモザ3月号」に掲載しました。

☆今年度の本校の教育活動および次年度の方向性について承認をいただきました。